

ヨコトリーツ!

横浜トリエンナーレサポーター Hama-Treats!'s フリーペーパー Yoko-Treats!
THE SECOND SEASON Vol.06
[通巻18号]

Sep.
2017

ついに開幕! ヨコトリ2017

私も
小沢剛
作品の
一部に!

ミエテル?
ミエナイ?
照沼敦朗
インタビュー



「ヨコトリーツ! (Yoko-Treats!)」は、「横浜トリエンナーレ」を応援し一緒に盛り上げる活動を行うサポーター「ハマトリーツ!」による手作りのフリーペーパーです。「トリーツ/Treats」には、「思わぬ喜び、とてもいいもの」という意味があります。横浜のいいもの、楽しいものを伝えたいということで名付けました。ハロウィンの決まり文句「Trick or Treat!」(「トリックオアトリート!」=お菓子をくれなきゃイタズラをするぞ!)から連想して、みんながワクワクするような情報交換の場を目指します。



ヨコハマトリエンナーレ2017 「島と星座とガラバゴス」
会期: 2017年8月4日(金)~11月5日(日) ※第2・4木曜日休場
会場: 横浜美術館 / 横浜赤レンガ倉庫1号館 / 横浜市民開港記念会館
公式Webサイト: <http://www.yokohamatriennale.jp/>

ヨコトリーツ!

ハマトリーツ! 自主活動 グループ近況報告

アートアクセシビリティ

8月17・18日の子どもアドベンチャーへご参加いただいた皆様、どうも有難うございました。幾何学アートや絞切のワークショップを通じて、現代アートをより身近に感じてもらえたら嬉しいです。9月以降もオリジナルワークショップを検討していますので、是非ご参加下さい!(脇川)

観る・学ぶ

「おしゃべり会」「検定」「感想ノート」に加え、新たに「みどころマップ」にも制作中。「みどころマップ」は、みなとみらい周辺のヨコトリと連携プログラムの中から、マップ上にサポーター選りすぐりのみどころをお伝えします。アート巡りのコース(デートコース?)の組み立てにお役立てください。(山岸)

料理部

横浜美術館併設の「Café小倉山」さんと、なんと、8/16~8/31の間、料理部考案「島と星座のクリームソーダ」を販売していただきました。ヨコトリ2017カラーで作った爽やかな飲みもの、お試しいたできましたでしょうか? 今度は全国芸術祭サポーターズミーティングで実際に腕をふるいます!(星)

情報発信

フリーペーパー、7月に発行の新5号から部数を5000部に増やし、9月、10月は連続で発行します。札幌遠足への遠征取材に加え、全国芸術祭サポーターズミーティング&関連イベント、徹底取材敢行予定! 会期中、フルスロットルで突っ走ります。ライター、イラストレーター等、メンバー随時募集中!(青木)

遠足

札幌国際芸術祭2017へ遠足に行ってきました!(この号が出る頃には、札幌から帰って来ている事でしょう!) 遠足グループでは、今回の遠足や札幌のボランティアさんたちとの交流会の様子などを、ZINE(ジーン)という小冊子のような形にまとめる予定です。お楽しみに!(北野)

時をかけるヨコハマ

路上観察案内書6種中4種(関内・野毛山・横浜港・生麦事件)は既に確認依頼中、間もなく印刷・配布に至る見通しです。残る2種(山手本通り・山手外周)は、引用図版の権利関係調整中です。案内書ダウンロード用WEBページも、実現方法を提案中です。3年間の活動の総括を開始しました。(深野)

活動支援

ヨコトリ2017を支える色々な注目のサロンの準備中です。あれこれやりたい我々のために、多くの方が奔走してくださっているのを実感する日々です。支えられていることに感謝しつつ、縁の下でハマトリーツ!を支えつつ...? 11月まで駆け抜けます! 今後の活動もcheck it out! (びん)

サポーター活動に参加するには まずサポーター登録を!

サポーター活動の詳細はハマトリーツ! 公式ウェブサイトをチェック! サポーター登録すると最新情報をメールニュースで受け取れます!



REPORT

料理部 presents

Let's ヨコハマCooking!

#2 おうちでかんたん「ヨコトリソーダ」

「アート」と「横浜」をキーワードにオリジナルレシピに挑戦中の料理部。8月には横浜美術館のCafé小倉山で料理部考案オリジナルドリンクを販売して頂きました! 今号はそのドリンクを簡単にアレンジしてご紹介します。



材料 (1杯分)
ひとくちゼリー 2~3個
サイダー 150cc
パニライス 約50g (お好きな量で)
(用意できれば) 星型のトッピングシュガー 少量

作り方

- 1.ゼリーを、容器に入ったまま揉んで細かくしてから、コップの底に入れます。
- 2.ゼリーの上に氷をたっぷり入れたら、サイダーを注ぎます。
- 3.パニライスをスプーンで丸く、海に浮かぶ島の様にこんもりと盛り付けます。
- 4.最後に星型のトッピングシュガーを飾って完成です。

INFORMATION

THE SECOND SEASON Vol.06

EVENT CALENDAR

日	月	火	水	木	金	土
					1 ③	2 ③
3 ③	4 ③	5 ③	6 ③	7 ③	8 ③	9 ③
10 ⑥	11 ⑥	12 ⑥	13 ⑥	14 ⑥	15 ⑥	16 ⑥
17 ②③	18 ①	19 ①	20 ①	21 ①	22 ①	23 ①
24 ⑦	25 ⑦	26 ⑦	27 ⑦	28 ⑦	29 ⑦	30 ⑦
1 ⑤	2 ⑤	3 ⑤	4 ⑤	5 ⑤	6 ⑤	7 ⑤
8 ②	9 ②	10 ②	11 ②	12 ②	13 ②	14 ②
15 ①	16 ①	17 ①	18 ①	19 ①	20 ①	21 ①
22 ①	23 ①	24 ①	25 ①	26 ①	27 ①	28 ①
29 ①	30 ①	31 ①				

サポーターイベント

詳細はサポーター公式ウェブサイトをご覧ください。

◎9/9~9/10 遠足企画: 札幌国際芸術祭2017へ行こう!

⑦ 第3回全国芸術祭サポーターズ

ミーティング in ヨコハマ

9/23 13:00~16:30 @ 富士通エフサス みなとみらいInnovation & Future Center
9/23 18:30~20:30 交流会
9/24 ハマトリーツ! フェス: 各グループのイベント企画を集中して実施します。

公式イベント

詳細は、決まり次第、ヨコトリ2017公式ウェブサイトにてお知らせします。

① ヨコハマラウンド

9/18 14:00~ラウンド6「新しい公共とアート」@ 横浜美術館レクチャーホール
10/21 ラウンド7「我々はどこから来てどこへ行くのか?」

② ヨコハマスクリーニング

日時: 9/16, 9/17, 10/7, 10/8 各日13:30~15:30
場所: 横浜美術館レクチャーホール

③ ヨコハマプログラム 水族館劇場

日時: 9/1~9/5, 9/13~9/17 各日18:30~20:30
場所: 寿町総合労働福祉会館再整備事業用地

④ 国際セミナー「接続する国際展・芸術祭」

9/27 10:00~@ 横浜美術館円形フォーラム
9/27 13:30~@ 横浜美術館レクチャーホール

⑤ ヨコトリDANCE

日時: 10/1 13:00~15:00
場所: ランドマークプラザ1階 サカタのタネ ガーデンスクエア

ハマトリーツ! による「ギャラリー・ツアー」も開催!

展示室を巡りながら作家や作品についてハマトリーツ! が解説します!

会期中随時/所要時間約30分

参加方法: 当日

横浜赤レンガ倉庫1号館でも作品解説!

休日を中心に不定期開催。

時間: 14:00~15:00 / 所要時間各約30分

次号予告 本展と共にサポーター活動も熱い!

2017年10月
発行予定

THE SECOND SEASON Vol.06

「ヨコトリ検定」へのお誘い

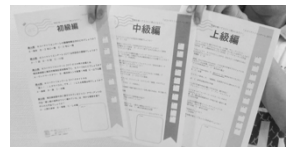
クイズでヨコトリを知ろう!

早速ですが問題です。横浜トリエンナーレは、何年に一回開催されているでしょう?

「観る・学ぶ」グループでは、多くの方にヨコハマトリエンナーレ2017のことを少しでも知っていただきたいと考え、「ヨコトリ検定」というクイズを制作しました。今回の展示作品に関する問題はもちろん、ヨコトリに関連する様々な問題をご用意しています。

検定は「初級編」「中級編」「上級編」など複数のレベルがあり、それぞれ用紙一枚で三択問題に回答する形式です。お気軽にお答えいただけます。ちなみに、最初におたずねした問題は初級編の第一問です。答えられましたか?

ヨコトリ検定の配布は、横浜美術館に入ってすぐ左側の「ハマトリーツ! ステーション」でおこなっています。付近に白いTシャツを着たサポーターがいまますのでお気軽にお尋ねください。答え終わった後、館内に入って右手にある「ビジターサービスセンター」(休憩所もあります)に用紙をお持ちください。その場でスタッフが確認して、私たちが作成した手作りスタンプで採点結果をお伝えします。



鑑賞のお供に、まずはヨコトリ検定を手にとってみてください!(中島)

ハマトリーツ! 始動

8月4日9時30分、ヨコトリ2017オープン前からハマトリーツ!は始動します。まずは朝礼です。そこで今日の分担時間割が決まります。説明のあと新しいデザインのユニフォームのTシャツを着て、最初の分担の持ち場につきます。横浜美術館に入ってすぐ左に設けられたハマトリーツ!ステーションに立つ人、アレックス・ハートリーの移動大使館の準備、ピジターサービスセンターで裏方としてイベント告知のポスターを作る人…

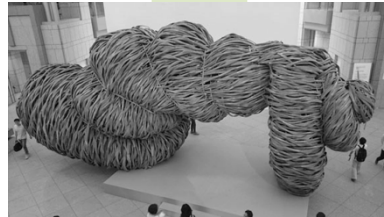
ハマトリーツ!ステーションはお客様への情報提供を行う場所です。ヨコトリ2017や関連プログラムのチラシの提供、会場間移動シャトルバスの時間と乗り場、場合によっては作品の見どころも聞かれます。



ハマトリーツ! レポート

ついに開幕!
ヨコトリ
2017

8月4日に開幕したヨコトリ2017。開幕直後の様子をサポーター視点でお伝えします。(上田/平本)



美術館に入って最初に目にするのが、大迫力のジョコ・アヴィアントの作品《善と悪の境界はひどく縮れている》(2017)。インドネシアの竹を用い、日本の神社の注連縄(しめなわ)をモチーフにしています。美術館の中のアートの世界とその手前の現実世界を分ける結界という見方もできます。

姿を見せる期待以上の作品群

横浜赤レンガ倉庫1号館には、前号で紹介した宇治野宗輝の新作《ブライウッド新地》があります。15、6個の貨物運搬用の木箱に、ドリルやミキサーなどで作られたガジェットがとりつけられたサウンド・スカルプチャー。それらは運動して動き、順にひとつひとつスポットライトがあたり、奥の大スクリーンに投影されます。さながらバンド演奏のソロパートのようです。構成はあらかじめ知っていましたが、出来上がった宇治野ワールドの統一感に釘付けです。



宇治野宗輝《ブライウッド新地》(2017)

隣のクリスチャン・ヤンコフスキーも期待以上です。共産主義

時代の偉人のモニュメント、これを重量挙げボウラウンド代表選手たちが持ち上げようとして持ち上げられない様子から、歴史の重みを伝える作品。と聞いていたのですが、実際の映像作品では、それをアナウンサーがスポーツ中継のように実況しており、バカバカしくユーモラスな作品になっていました。

ヨコハマラウンド ラウンド4

公開対話シリーズ「ヨコハマラウンド」のラウンド4<繋がる世界と孤立する世界>が8月4日 PART 1、8月5日 PART 2,3と2日間にわたって行われました。今回は通常の「対話」とは異なり、アーティスト・トークがメインです。合計10人のアーティストのうち、中国のアーティスト、ザオ・ザオが、中国政府から目をつける中でその制作の困難さを訴えていたのが印象的でした。

小沢剛 アーティストプロジェクト支援に参加しました!

ツイッターを見ていたら、目に飛び込んできた「小沢剛コーラス隊サポートの男声パートが圧倒的に足りません!」のサポーター事務局の悲痛な(?)叫び声。そういうことなら、行ってみよう!と申込みを済ませ、まずは7月10日夜に横浜美術館レクチャーホールで行われた練習に参加。作曲家の安野太郎さんが、男女それぞれ10名ずつで構成された即席コーラス隊の僕たちを気さくに迎えてくださいました。

事前には、歌はおそらくベンガル語、と聞いていたのですが、楽譜に記されている歌詞は日本語で、ホッとひと安心。「たびからもどるとうっかっけいのたてものいた」「どうとうどるあうみをみなから」という歌詞を音楽に合わせて2回ずつ繰り返す、という短いものですが、楽曲がインドのミュージシャンによる不可思議な音楽で、果たしてどんな作品に仕上がるのか、まったく想像もつきません。パート別だったり皆で合わせたりと、何度か繰り返して合唱し、一時間強の練習は終了しました。

そして収録日の7月17日、場所は横浜市開港記念会館。盛夏のうだるような暑さの中、指示通り白の長袖シャツを着用し、19時前に現地に到着。講堂の中に入ると、ステージの上の小沢剛さんから笑顔で「今日はよろしくお願ひします」の言葉。改めて、小沢さんから今回の作品の概要、僕らに協力してほしいことを説明いただいたあとは、いよいよ収録です。

ステージに上がり、先日、歌唱指導をいただいた安野さん主導のもと、まずは音声の収録から取りかかりました。練習では音楽に合わせて歌いましたが、今回は僕らの声だけを録音するため、音は聴けません。ヘッドホンで音楽を聴いている安野さんの指揮に合わせますが、歌い出しが合わなかったり、声が弱かったり、車の音が入ったりと、なかなか良いテイクが録れません。それでも、何度か繰り返すうちにポイントが分かり、小沢さんのOKも出て録音は一時間弱で終了。続いて映像記録。小沢さんの発案で、講堂全体を背景にとのことと、客席を背に前後二列で女性が左、男性が右となり、今回は曲を聴きながら歌います。僕らが歌っている全身を撮ったり、脚だけ、顔だけのアングルなどを撮ったりと数回繰り返し、こちらは割とすんなりとOKをいただきました。

果たして、僕たちの歌唱がどのような形で作品となったのか、ヨコハマトリエンナーレ2017にお越しの際は、是非、着目していただけたらと思います(展示は横浜赤レンガ倉庫1号館です。(青木)



制作の様子



完成した作品 小沢剛《帰ってきたK.T.O.》(2017)

ミエテル?ミエナイ? 照沼敦朗インタビュー

ヨコハマトリエンナーレ2017開幕直前、参加アーティストの照沼敦朗氏にインタビューする機会を得た。作品の鑑賞に有益な貴重なお話が伺えたので、皆さんにお届けする。(インタビュー: 上田、渡辺)

一 照沼さんは黄金町バザールで滞在制作をされていたとのこと、横浜は馴染み深いと言えますね。

はい、2012年です。ちよくちよく横浜に来ていました。

一 また今横浜赤レンガ倉庫1号館で制作されていますよね。

今回は埼玉の自宅で作成し、横浜では微調整する形をとります。

今回の作品は、平面作品の上にプロジェクションマッピングを行います。映像にずれが生じるので、現場での調整が必要になります。

一 照沼さんには、そのような平面作品と映像作品の組み合わせが多いですね。

大学時代は油彩科で現代美術専攻でしたが、2年のころアニメーションが流行って、例えばヤン・シュヴァンクマイエルやユージ・ノルシュテインなどですね。自分一人でも作れることに気がついて、自分で作るようになりました。初期の作品は、鉛筆で描いた切り絵やクレイアニメーションなどです。その後ペンキなども使いましたが、モノトーンのものが多いです。

一 モノトーンで暗い都市が広がっているようなイメージが多いですが、そのイメージはどこからくるのですか。

僕の頭の中です。生まれた時から弱視(近視・遠視・乱視)で、単眼鏡という片目だけのレンズで黒板など見ていたのです。そこから生まれたキャラクターがミエテルノゾム君で、在学中に生まれて10年になります。今回の白黒作品がシリーズで出ているノゾム君の方です。そしてカラーの新作の方が、僕は真逆の世界で、目がよく千里眼的なキャラクターで逆に見えるべき事を望んでいるミエナイノゾミちゃんです。

一 照沼さんの作品はいわゆるホワイトキューブではない場所での展示も多いですね。今回赤レンガ倉庫も同様ですね。

そうですね、ホワイトキューブは苦手です。本当は洞窟のようにしたかったのですが、暗い部屋にカラーの壁の方と白黒の壁の方と直角に配置しています。世界は離

れているけどひとつにまとまっているイメージです。

一 なるほどそれが今回のヨコトリ2017のテーマ「孤立」と「接続」につながるんですね。

今回のテーマの「孤立」と言うのは、白黒の世界で僕のオリジナルの世界。右側のカラーの作品は「接続」で、見えすぎる世界です。そしてその二つの世界は繋がっているのです。



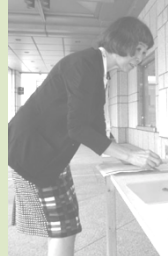
アイ・ウェイウェイの《安全な通行》(2016)(手前)と《Reframe》(2016)(奥)。日本人は他人事だと思っている難民問題をクローズアップする作品。

Here Comes The Nowhere Embassy

氷河の中に埋もれていた地図にない島を発見したアレックス・ハートリーは、ノルウェー政府との粘り強い交渉の末、その島を切り出す許可を得ました。それを独立国として宣言したのが《Nowhereisland》。その移動大使館 The Nowhere Embassy が横浜美術館前に来ています。

土日限定のイベントになりますが、そこで自分が考える理想の国の提案をしてくれた人には、国土の一部(石)と入国証明書がもらえます。

参加者は一生懸命自分の理想の憲法を考えていました。みなさんの考えた憲法は微笑ましく、和みます。



逢坂館長も参加



インタビューを受ける照沼さんの様子